

結果の概要

1 推計患者数

調査日に全国の医療施設で受療した推計患者数は、「入院」1,211.3千人、「外来」7,137.5千人である。

(1) 施設の種類の性別・年齢階級別

「入院」1,211.3千人について、施設の種類の別みると「病院」1,177.7千人、「一般診療所」33.6千人、性別にみると「男」558.6千人、「女」652.8千人、年齢階級別にみると「65歳以上」904.9千人、「70歳以上」805.5千人、「75歳以上」663.6千人となっている。

「外来」7,137.5千人について、施設の種類の別みると「病院」1,472.5千人、「一般診療所」4,332.8千人、「歯科診療所」1,332.1千人、性別にみると「男」3,050.0千人、「女」4,087.5千人、年齢階級別にみると「65歳以上」3,618.8千人、「70歳以上」2,963.9千人、「75歳以上」2,077.3千人となっている。（表1、統計表1）

表1 年齢階級別にみた施設の種類の推計患者数

(単位：千人)

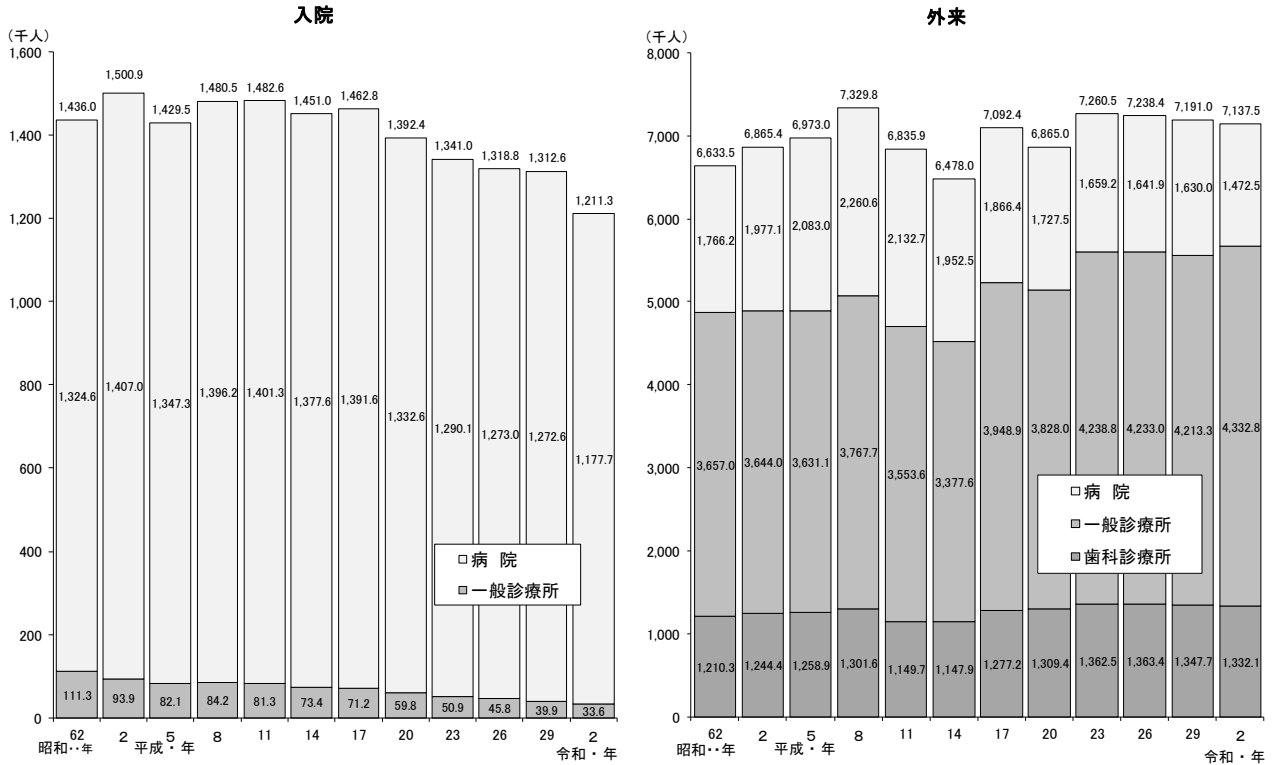
令和2年10月

性 年齢階級	入 院			外 来			
	総 数	病 院	一 般 診 療 所	総 数	病 院	一 般 診 療 所	歯 科 診 療 所
総 数	1 211.3	1 177.7	33.6	7 137.5	1 472.5	4 332.8	1 332.1
男	558.6	548.1	10.5	3 050.0	692.8	1 805.0	552.1
女	652.8	629.6	23.2	4 087.5	779.7	2 527.8	780.0
0 歳	8.9	8.4	0.5	61.1	10.4	50.6	0.1
1 ~ 4	5.0	5.0	0.0	234.4	23.5	193.0	17.9
5 ~ 9	3.7	3.7	-	246.3	22.2	164.3	59.8
10 ~ 14	5.3	5.3	0.0	178.1	20.0	116.9	41.3
15 ~ 19	7.0	6.8	0.2	124.3	18.8	79.6	25.9
20 ~ 24	8.9	8.5	0.4	146.7	21.6	86.1	39.0
25 ~ 29	12.7	11.6	1.1	171.9	27.6	102.0	42.2
30 ~ 34	16.5	14.9	1.6	204.3	35.4	122.8	46.1
35 ~ 39	19.3	18.2	1.1	238.0	43.8	142.1	52.0
40 ~ 44	23.1	22.6	0.5	294.9	53.6	168.8	72.5
45 ~ 49	34.0	33.6	0.4	369.6	72.7	209.3	87.5
50 ~ 54	41.8	41.3	0.5	374.5	79.3	211.3	83.9
55 ~ 59	52.7	52.0	0.7	406.0	89.6	227.1	89.2
60 ~ 64	66.6	65.7	0.9	454.9	102.8	256.9	95.2
65 ~ 69	99.4	97.3	2.1	654.9	148.3	382.2	124.3
70 ~ 74	141.9	139.2	2.7	886.6	208.7	522.1	155.9
75 ~ 79	155.7	151.8	3.9	814.3	192.6	493.8	128.0
80 ~ 84	174.7	169.9	4.8	640.2	152.1	396.6	91.6
85 ~ 89	173.4	168.0	5.4	401.5	97.3	253.3	50.8
90歳以上	159.8	153.1	6.7	221.3	51.3	145.1	25.0
不 詳	0.8	0.8	0.0	14.0	1.1	9.0	3.9
(再 掲)							
65歳以上	904.9	879.4	25.6	3 618.8	850.2	2 193.0	575.5
70歳以上	805.5	782.0	23.5	2 963.9	701.9	1 810.8	451.2
75歳以上	663.6	642.8	20.8	2 077.3	493.2	1 288.7	295.3

推計患者数の年次推移をみると、入院では平成 20 年から減少しており、外来では平成 23 年からほぼ横ばいとなっている（図 1、統計表 1）。

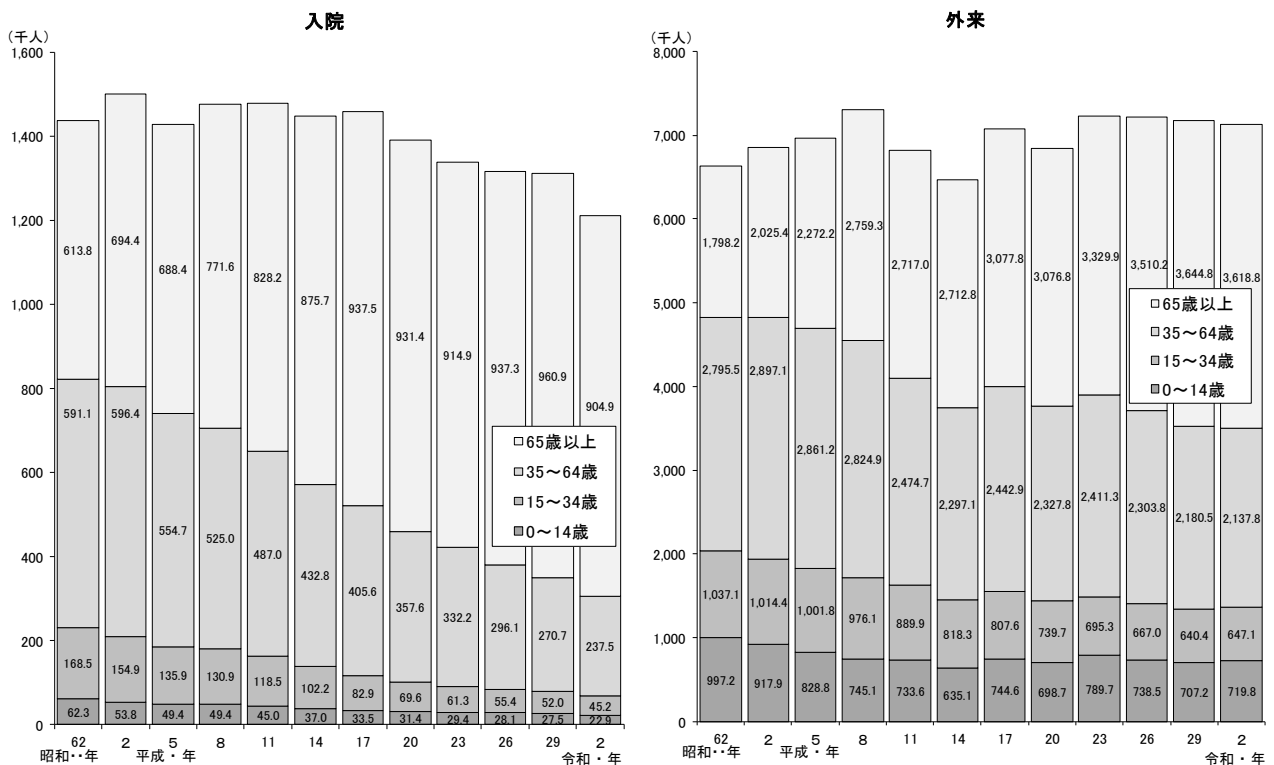
年齢階級別にみると、入院ではいずれの年齢でも平成 29 年に比べ減少しており、外来では平成 23 年以降ほぼ横ばいとなっている（図 2、統計表 1）。

図 1 施設の種類の別みた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

図 2 年齢階級別にみた推計患者数の年次推移



注：平成 23 年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(2) 傷病分類別

推計入院患者数を傷病分類別にみると、多い順に「V 精神及び行動の障害」236.6千人、「IX 循環器系の疾患」198.2千人、「XIX 損傷、中毒及びその他の外因の影響」134.5千人となっている。

推計外来患者数では、多い順に「XI 消化器系の疾患」1,270.8千人、「XXI 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用」1,001.3千人、「XIII 筋骨格系及び結合組織の疾患」906.0千人となっている。（表2、統計表2、3）

表2 傷病分類別にみた施設の種別推計患者数

傷病分類		入院			外来			
		総数	病院	一般診療所	総数	病院	一般診療所	歯科診療所
総数		1 211.3	1 177.7	33.6	7 137.5	1 472.5	4 332.8	1 332.1
I	感染症及び寄生虫症	16.3	16.0	0.2	130.4	25.7	104.7	-
	結核 (再掲)	2.0	2.0	0.0	1.1	0.9	0.2	-
	ウイルス性肝炎 (再掲)	0.5	0.5	0.0	9.3	6.7	2.6	-
II	新生物<腫瘍>	126.7	124.9	1.8	247.0	188.3	58.7	-
	悪性新生物<腫瘍> (再掲)	112.9	111.3	1.6	182.2	146.8	35.4	-
	胃の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	10.2	10.1	0.1	16.2	12.6	3.5	-
	結腸及び直腸の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	17.4	17.1	0.3	27.0	23.0	4.0	-
	肝及び肝内胆管の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	4.7	4.6	0.1	4.4	3.8	0.6	-
	気管、気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	15.9	15.7	0.2	18.6	16.6	2.0	-
	乳房の悪性新生物<腫瘍> (再掲)	5.4	5.1	0.2	34.9	23.0	11.9	-
III	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	5.7	5.6	0.1	18.1	9.4	8.7	-
IV	内分泌、栄養及び代謝疾患	30.0	28.9	1.1	433.1	107.0	326.1	-
	糖尿病 (再掲)	15.2	14.6	0.6	215.0	66.1	148.9	-
	脂質異常症 (再掲)	0.3	0.2	0.1	153.4	19.6	133.8	-
V	精神及び行動の障害	236.6	236.0	0.6	266.6	99.5	167.0	-
	血管性及び詳細不明の認知症 (再掲)	25.3	24.9	0.3	13.8	3.5	10.3	-
	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害 (再掲)	143.0	143.0	0.0	50.0	34.9	15.0	-
	気分[感情]障害(躁うつ病を含む) (再掲)	28.0	27.9	0.1	91.4	24.2	67.2	-
VI	神経系の疾患	125.8	123.9	1.9	165.8	62.5	103.2	-
	アルツハイマー病 (再掲)	50.6	49.8	0.8	45.4	13.5	31.9	-
VII	眼及び付属器の疾患	10.2	8.9	1.2	298.9	49.6	249.3	-
VIII	耳及び乳様突起の疾患	2.4	2.3	0.1	95.5	12.1	83.4	-
IX	循環器系の疾患	198.2	192.7	5.5	822.8	195.2	627.6	-
	高血圧性疾患 (再掲)	4.5	3.6	0.9	594.4	84.6	509.8	-
	心疾患(高血圧性のものを除く) (再掲)	58.4	56.8	1.6	129.6	63.5	66.1	-
	脳血管疾患 (再掲)	123.3	120.4	2.9	74.2	33.4	40.8	-
X	呼吸器系の疾患	74.9	73.5	1.5	468.1	55.0	413.1	-
	肺炎 (再掲)	24.0	23.3	0.6	4.1	2.3	1.8	-
	慢性閉塞性肺疾患 (再掲)	6.4	6.2	0.2	15.6	6.6	8.9	-
	喘息 (再掲)	1.9	1.8	0.1	89.9	13.5	76.4	-
XI	消化器系の疾患	60.5	58.8	1.7	1 270.8	112.6	136.1	1 022.1
	う蝕 (再掲)	0.0	0.0	-	291.3	2.0	0.7	288.6
	歯肉炎及び歯周疾患 (再掲)	0.1	0.1	-	505.4	9.5	0.6	495.3
	肝疾患 (再掲)	6.2	6.0	0.1	24.8	11.6	13.2	-
XII	皮膚及び皮下組織の疾患	12.0	11.6	0.4	311.6	42.7	268.8	-
XIII	筋骨格系及び結合組織の疾患	74.3	69.9	4.4	906.0	161.1	744.9	-
XIV	腎尿路生殖器系の疾患	51.5	49.7	1.9	304.3	110.9	193.4	-
	慢性腎臓病 (再掲)	23.3	21.9	1.4	124.5	51.0	73.5	-
XV	妊娠、分娩及び産じょく	14.5	11.3	3.2	13.0	6.3	6.7	-
XVI	周産期に発生した病態	6.4	6.0	0.4	3.3	2.6	0.7	-
XVII	先天奇形、変形及び染色体異常	5.6	5.6	0.0	13.6	9.9	3.7	-
XVIII	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	12.5	11.8	0.7	74.5	34.1	40.4	-
XIX	損傷、中毒及びその他の外因の影響	134.5	128.6	5.8	289.0	79.9	207.3	1.8
	骨折 (再掲)	97.4	92.9	4.5	96.8	35.0	61.8	-
XXI	健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	10.1	8.8	1.3	1 001.3	105.5	587.6	308.3
XXII	特殊目的用コード	2.9	2.9	-	3.8	2.5	1.3	-

(3) 在宅医療の状況

調査日に在宅医療を受けた推計外来患者数は173.6千人であり、これを施設の種別別にみると、「病院」22.3千人、「一般診療所」110.3千人、「歯科診療所」40.9千人となっている。

在宅医療の種別別にみると、総数では「往診」52.7千人、「訪問診療」105.7千人、「医師・歯科医師以外の訪問」15.2千人となっている。(表3)

年次推移をみると、在宅医療を受けた推計外来患者数は、平成20年からは増加しているが、令和2年では減少している(図3)。

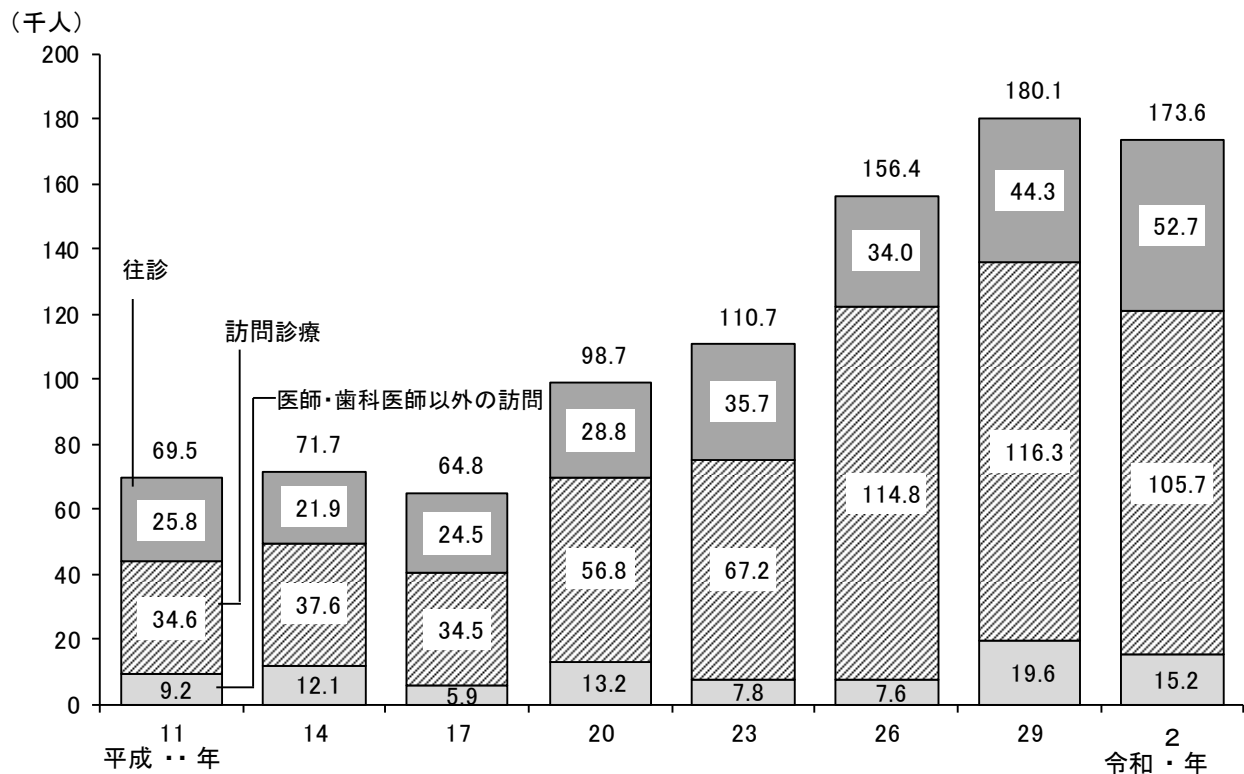
表3 年齢階級別にみた在宅医療を受けた推計外来患者数

年齢階級	推計外来患者数 総数	(総 数)				(病 院)				(一般診療所)				(歯科診療所)		
		在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師・歯科医師以外の訪問	在宅医療	往診	訪問診療	医師以外の訪問	在宅医療	訪問診療	歯科医師以外の訪問
総数	7 137.5	173.6	52.7	105.7	15.2	22.3	6.3	13.4	2.7	110.3	46.4	61.2	2.7	40.9	31.1	9.8
0～14歳	719.8	0.4	0.3	0.1	0.0	0.2	0.1	0.0	0.0	0.3	0.2	0.1	-	-	-	-
15～34歳	647.1	1.8	0.8	0.7	0.3	0.5	0.2	0.1	0.1	1.1	0.6	0.4	0.1	0.2	0.2	-
35～64歳	2 137.8	11.2	4.2	5.4	1.6	2.5	1.0	0.6	1.0	6.2	3.2	2.5	0.4	2.6	2.3	0.3
65歳以上 (再掲)	3 618.8	159.6	47.2	99.1	13.3	19.2	5.0	12.7	1.5	102.4	42.3	58.0	2.2	38.0	28.5	9.6
70歳以上	2 963.9	153.4	45.7	95.2	12.5	18.3	4.7	12.3	1.3	99.1	41.0	56.1	2.0	36.0	26.7	9.3
75歳以上	2 077.3	142.3	42.9	88.0	11.3	16.5	4.2	11.3	1.0	93.1	38.7	52.6	1.8	32.7	24.1	8.5

令和2年10月

- 注：1) 総数には、年齢不詳を含む。
 2) 「往診」とは、患者(介護老人保健施設等を含む。以下同じ。)の求めに応じて患者に赴いて診療するものをいう。
 3) 「訪問診療」とは、医科においては、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に医師が訪問して診療を行うものをいい、歯科においては、歯科医師が患者に赴いて診療を行うものをいう。
 4) 「医師・歯科医師以外の訪問」、「医師以外の訪問」及び「歯科医師以外の訪問」とは、居宅において療養を行っている患者であって、通院が困難な者に対して、その同意を得て計画的な医学管理の下に、定期的に当該職種以外の者が訪問して実施されるものをいう。

図3 在宅医療を受けた推計外来患者数の年次推移

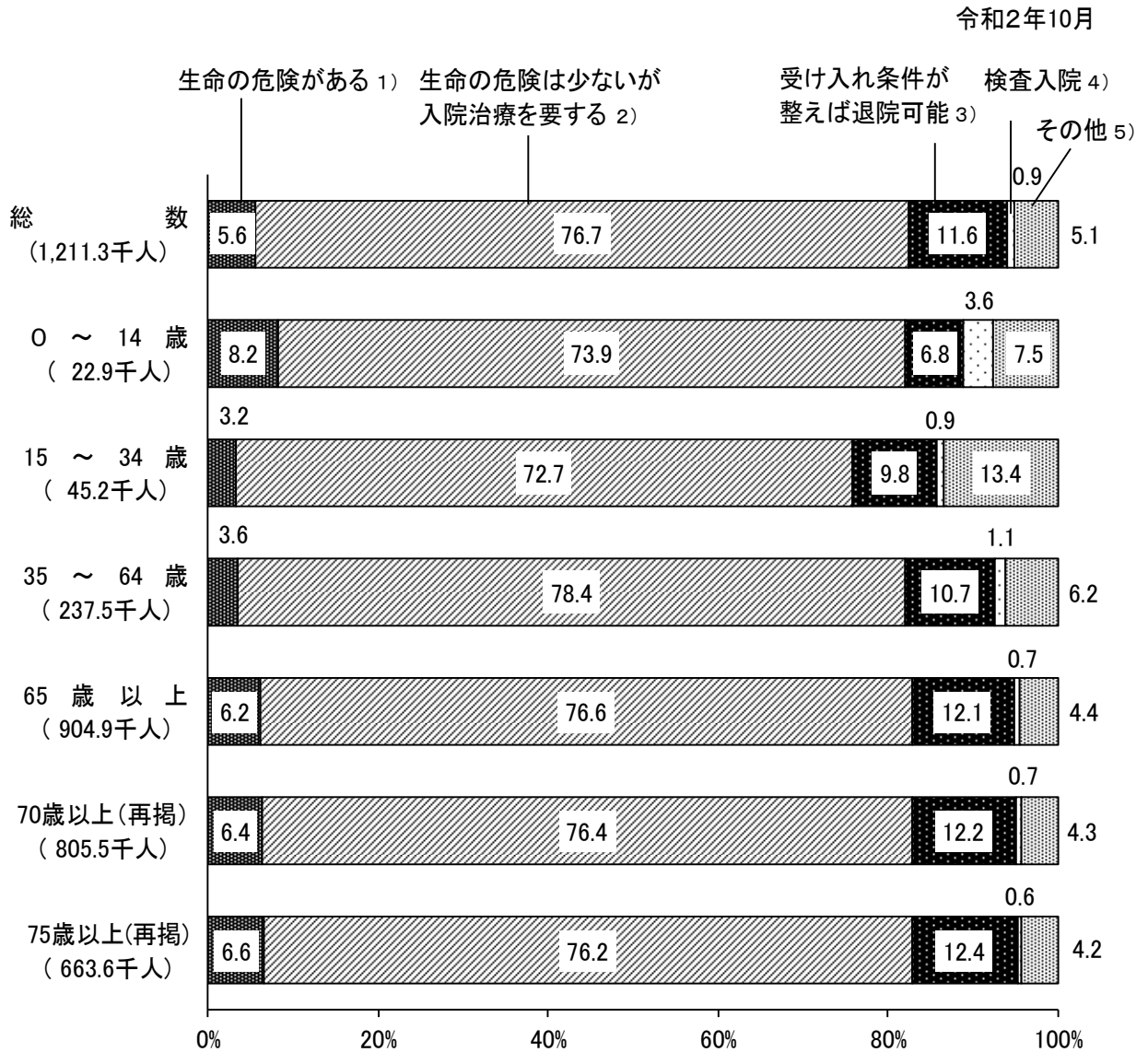


注：平成23年は、宮城県の石巻医療圏、気仙沼医療圏及び福島県を除いた数値である。

(4) 入院（重症度等）の状況

入院（重症度等）の状況を見ると、「生命の危険がある」5.6%、「生命の危険は少ないが入院治療を要する」76.7%、「受け入れ条件が整えば退院可能」11.6%、「検査入院」0.9%となっている。（図4）

図4 年齢階級別にみた入院（重症度等）の状況別推計入院患者数の構成割合



注：1) 「生命の危険がある」とは、生命の危険がある重篤な患者をいう。
 2) 「生命の危険は少ないが入院治療を要する」には、退院が決定している患者を含む。
 3) 「受け入れ条件が整えば退院可能」とは、退院は決まっていないが退院可能な状態にある患者をいう。
 4) 「検査入院」とは、検査のために入院した患者をいい、健康な者に対する一般的検査のための入院患者を含む。
 5) 「その他」とは、上記1)～4)以外の入院患者をいう。
 6) () 内は、推計入院患者数である。